

## 【次期地域戦略における改定ポイント】

- 緑の保全・創出の取組に加え、生きものの生息・生育環境の維持回復の取組を強化
- 東京の自然資源の持続的な利用や自然への理解と配慮行動を促すことで、自然の保全・回復につなげる視点を追加
- 東京の生物多様性に関わる各局横断的かつ中長期的な総合計画として地域戦略を改定

## 生物多様性に関する3つの課題

### I 自然環境の劣化

- ・宅地化等による農地などの緑の減少
- ・生きものの生息・生育環境の悪化 など

⇒自然環境の保全を進め、水と緑のネットワークを強化することで、生物多様性の保全・回復や自然が持つ減災機能の活用も図っていくことが必要

### II 人と自然の関係の希薄化

- ・保全の担い手減少や知識・技術の消失
- ・若者の自然との触れ合いや関心の低下 など

⇒自然の持続的な利用を促進することで、自然に触れ合う機会を拡大し、自然環境の保全・回復の担い手育成や知識・技術の継承につなげていくことが必要

### III 自然の価値・魅力の認識不足

- ・自然とその恩恵に対する認識が不足
- ・自然への関心が低く、自然に配慮した行動が不十分 など

⇒自然が持つ価値や魅力を整理・発信することで、社会経済活動を支える自然の役割・重要性の理解を促し、自然環境の保全や持続的な利用の行動につなげていくことが必要

## 長期的に目指す姿

### 【保全・回復】

生物多様性にも配慮した緑の創出、自然環境の保全・回復が進み、健全な水環境が維持され、生きものと共生する都市づくりが進んでいる。

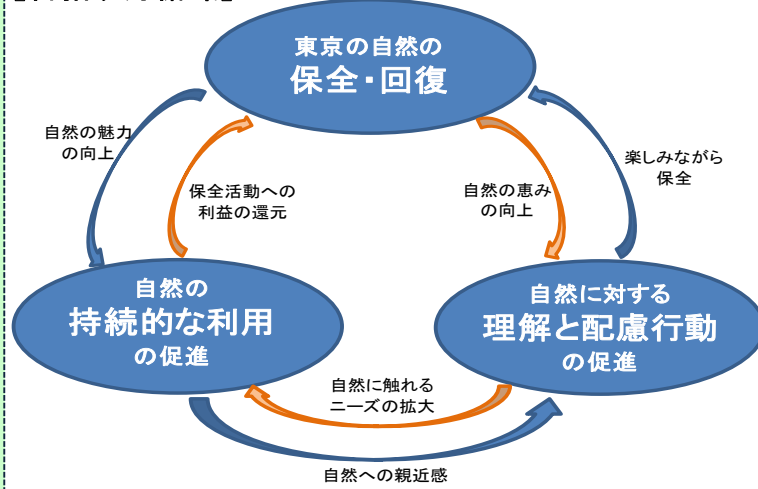
### 【持続的な利用】

様々な自然体験活動等により、生物多様性保全や持続可能な利用の気運が醸成され、多様な主体が連携した自然環境保全・回復活動が進んでいる。

### 【理解と配慮行動】

都民、企業、NPOなど、あらゆる主体が生物多様性の重要性を理解し、自然環境に配慮した行動をとっている。

### 【目指す好循環】



## 主な施策の方向性

### ①緑の量と質の取組強化

東京に残る貴重な緑の保全と生態系に配慮した緑化の推進、適切な維持管理

### ②生きものの生息・生育環境の維持回復

自然環境の科学的な情報に基づく、計画的な希少種保全、外来種防除、生きものの生息環境の維持回復

### ③自然の持続的な利用の促進

エコツーリズムや多摩産材の活用など、東京の自然の魅力向上や持続的な利用の促進

### ④将来世代の育成

環境教育等を通じた自然環境への関心の向上と将来世代の担い手拡大

### ⑤自然への理解と配慮行動の促進

東京の自然への理解促進や日常生活・経済活動における自然に配慮した行動変容の普及促進

### ⑥気候変動への対応

自然環境が持つ防災・減災機能(グリーンインフラ機能)の再認識・積極的活用

「東京都生物多様性地域戦略」の中間のまとめ(将来像)の作成に向けたポイント(留意点)

1 作成目的

- 東京の自然や人と自然との関係のあるべき姿(将来イメージ)について、都民から幅広く意見をもらい整理する。
- 東京の生物多様性に関する将来イメージを示し、都民・企業に幅広く読んでもらうことで、東京の自然に関する理解を促進し、関心を高める機会とする。

2 対象者と記載イメージの方向性

- **都民全般**  
中学生が理解できる分かりやすい内容にすることで、幅広い世代の都民に東京の自然を理解してもらい、生物多様性推進への共感と協力(主流化)につなげていく。  
 →将来を担う東京の若者に、東京の自然の魅力や役割について理解促進  
 →都民だけでなく、都外や海外への発信も想定
- **都内で活動する企業・NPO等**  
東京の自然や人と自然との関係のあるべき姿を示し、SDGsへの貢献についても整理することで、企業・NPO等による生物多様性の保全と利用の取組を促す。  
 →あるべき姿を共有することで、企業・NPO等の各主体の連携を促進  
 →SDGs教育が始まる若者に、東京の自然に関する社会的課題について提示

3 生物多様性とSDGs

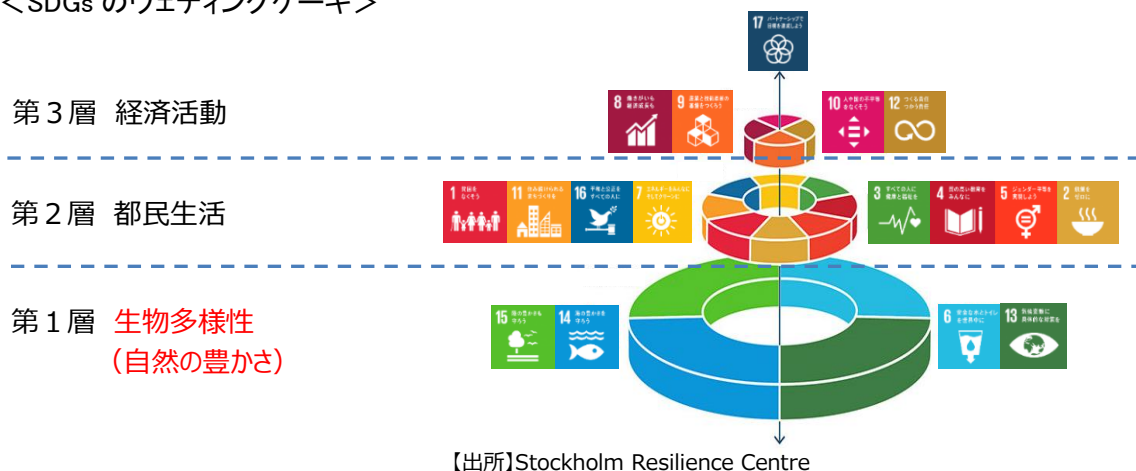
(1)東京の自然の特徴(下記図の第1層)

①東京における骨格となる自然／②自然の機能・役割／③東京の自然のあるべき姿

(2)持続可能な人と自然との関わり(下記図の第2層及び第3層)

①東京の自然と都民生活／②世界の自然に支えられている東京の経済と生活

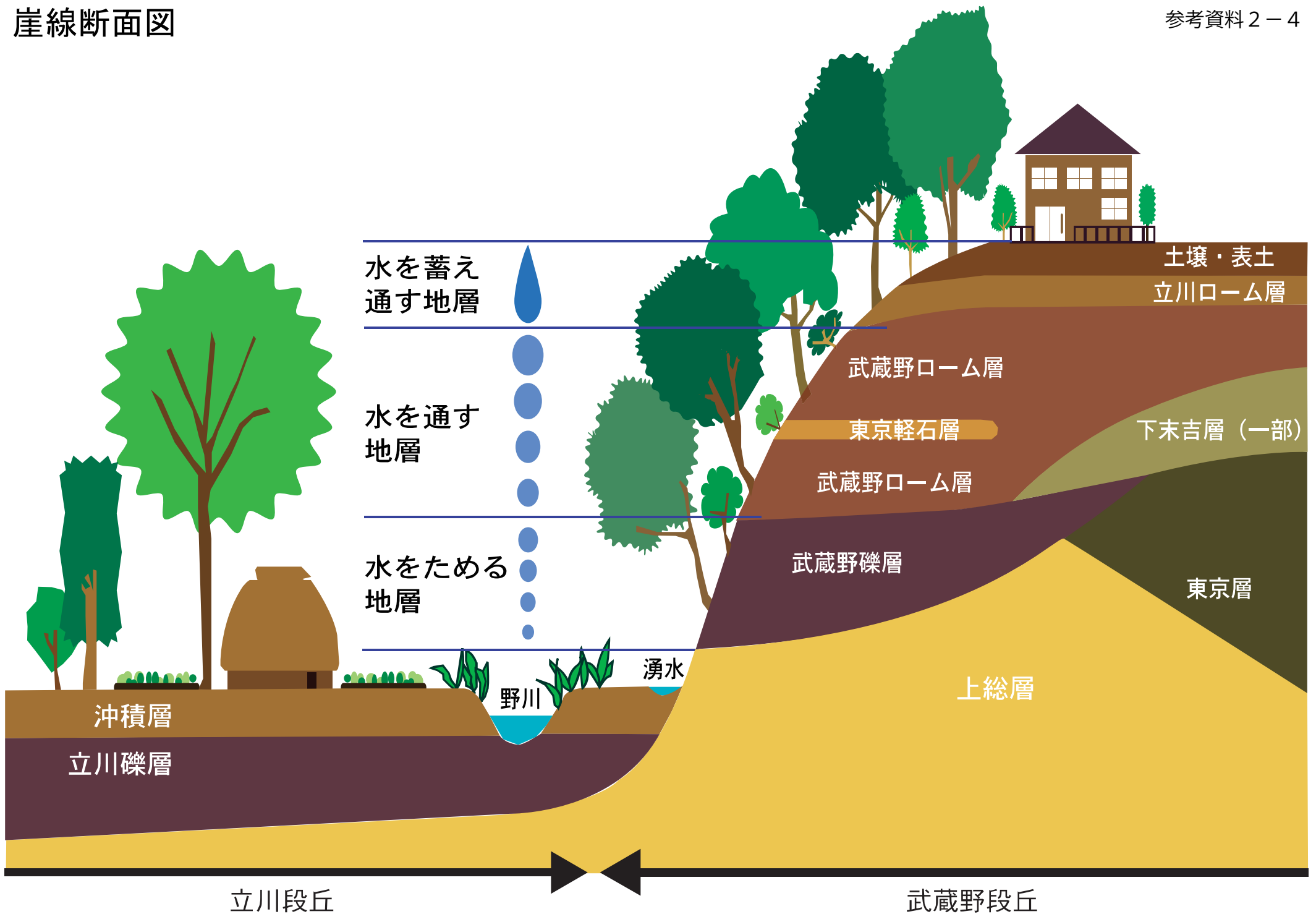
<SDGsのウェディングケーキ>



緑の系統図



出典「緑確保の総合的な方針(平成 28 年 3 月改定)」(東京都)をもとに作図



# 「未来の東京」戦略ビジョンと地域戦略との関係(案)

## 「未来の東京」戦略ビジョン

- 2040年代の東京の姿「**ビジョン**」を目指し、2030年に向けた「**戦略**」と「**推進プロジェクト**」の実行を通じて「**3つのシティ**」が進化し、「**成長**」と「**成熟**」が両立した未来の東京を実現していく。

セーフ シティ

ダイバーシティ

スマート シティ

実現

**2030年に向けた「戦略」**

「ビジョン」の実現に向け、2030年に向けて取り組むべき20の戦略と政策目標を提示

---

**戦略実行のための「推進プロジェクト」**

戦略実行のために、約120の「推進プロジェクト」を組成

**目指す2040年代の東京の姿「ビジョン」**

おおむね四半世紀先である2040年代を念頭に、我々が目指す「未来の東京」の姿として20のビジョンを提示

(「未来の東京」戦略ビジョン P30)

みんなでつくる「未来の東京」 (「未来の東京」戦略ビジョン P257)

- 区市町村や地域とともにつくる  
都民に最も身近な区市町村と緊密に連携しながら、取組を進めていく
- 様々な主体と連携する  
「国との連携」、「首都圏の自治体と連携した取組」、「大学との連携」、「民間企業との連携」
- SDGs の目線で政策を展開する  
地球規模の課題解決を先頭に立って進め、持続可能な都市・東京を実現する

戦略ビジョンの考え方等を踏まえ、  
生物多様性の視点で整理

各々の計画に基づきビジョンを実現

**東京都生物多様性地域戦略**

- ・東京の自然がビジョンの実現に果たす役割
- ・ビジョンの実現に向け保全・回復すべき東京の自然
- ・ビジョンの実現に向けた東京の自然利用のあり方
- ・都内外の自然資源の持続可能な利用のあり方

整合

東京都の他の行政計画